

SHIMANTO | 4

四万十町通信 2024.VOL.217

APRIL



50th anniversary of the opening of the entire Yodo Line

予土線

全線開通

50周年

大正の



まちあるき入場券 と おもてなし券

土佐大正駅には、国鉄看板やレトロな駅舎を目当てに多くの観光客が訪れます。そんな方々に「もっと大正の町を楽しんでもらいたい!」という思いがきっかけで、「まちあるき入場券」と「大正のおもてなし券」が作成されました。

【両券の入手方法】

土佐大正駅に設置しているガチャガチャで入手できます。



【まちあるき入場券】

土佐大正駅を訪れた記念に!

表 裏



国鉄時代の切符風 国鉄看板のデザイン

【大正おもてなし券】

商店でお得な特典が受けられる!



大当たり券 当たり券 普通券



①



特別配布されたオリジナルトートバッグ

※イベント当日の配布のみで、販売などは行っていません。

予 土線は、2024年3月1日に全線開通50周年を迎えました。愛媛県宇和島市と四万十町を結ぶJR予土線。町内には、窪川の3駅（窪川駅、若井駅、家地川駅）、大正の2駅（打井川駅、土佐大正駅）、十和の2駅（土佐昭和駅、十川駅）の計7つの駅があります。通勤や通学の交通手段として、地域に欠かせない存在です。

3月10日には、1日限定で「予土線3兄弟三重連 スプリングクルーズ号」が臨時運行。50周年という節目の年にさまざまなイベントが各駅にて開催されました。

町内では、土佐大正駅にて特別限定のオリジナルトートバッグの配布や開通時の写真展示、窪川駅でマルシェや餅まきなどが行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。

①②撮影：坪内政美



2部門で大会新記録更新

第60回四万十町窪川ロードレース大会

2月4日に、第60回四万十町窪川ロードレース大会が開催されました。

この大会は、小学4・5・6年生から壮年部までの11部門で競われる大会です。

当日は、高知県内から集まった80名(申込101名)が、日頃の練習の成果を発揮した力走を見せてくれました。また、高校女子の部と一般女子の部では大会最高記録が更新されました。

結果は右のとおりです。

各部門1位

部門	氏名	所属	学年(年齢)	記録
小学4・5・6年男子の部 2km	友永 拓志	窪川JRC	6	0:07:35
小学4・5・6年女子の部 2km	大崎 美羽	南国鉄人クラブ	6	0:07:51
中学1年男子の部 3km	武田虎汰郎	窪川中学校	1	0:11:04
中学女子の部 3km	窪田 百華	窪川中学校	2	0:11:42
中学2・3年男子の部 3km	畠山 瑠仁	旭中学校	2	0:09:58
高校男子の部 10km	高石 樹	高知工業高校	2	0:31:04
高校女子の部 5km	穂岐山芽衣	山田高校	2	0:16:39(大会最高記録)
一般男子の部 10km	濱口 純平	ミロク陸上クラブ	18	0:32:25
一般女子の部 5km	小池 彩加	高知市	30	0:17:16(大会最高記録)
壮年男子の部 5km	三島 康生	高知市	50	0:18:05
壮年女子の部 5km	森 加奈	土佐AC	41	0:22:08



大人も高校生も大健闘

第12回四万十町新春バドミントン大会開催

1月28日に、四万十町B&G海洋センターにて第12回四万十町新春バドミントン大会が開催されました。

今大会は団体戦となり、町内外の14チームが参加しました。四万十町からも4チーム15名が参加し、大会を大いに盛り上げてくれました。

また、窪川高校のバドミントン部から3名がくぼかわHSBCのチームとして出場。ベテランのプレイヤーにも負けぬ動きを見せました。

●四万十町チームの大会結果

Freedom	2・3部	3位	大正・十和スポーツクラブ	2・3部	10位
くぼかわHSBC	2・3部	9位	チームしまんと	4部	4位



窪川・大正中学校合同ソフトボール部が準優勝!!

第34回四国中学校男子ソフトボール強化大会

3月2日～3日に春野総合運動公園にて「第34回四国中学校男子ソフトボール強化大会」が開催され、8チームが参加しました。窪川・大正中学校ソフトボール部が高知県代表として出場し、準優勝しました。

1回戦	25-0	重信中学校 (愛媛県)
準決勝	15-0	上八万中学校 (徳島県)
決勝	2-8	愛媛ジュニア (愛媛県)



この50周年を100周年につなげたい

まずは、これまで本当にいろいろな方に支えていただき、予土線全線開通50周年を無事に迎えられたことに感謝申し上げます。

予土線の魅力は、なんといっても車窓から見える素晴らしい景観です。また、各駅で散策をしてもらい、その土地に眠っている新たな魅力を発見することも楽しみ方の1つです。そのような、それぞれの地域で個性のある資源を今後積極的にアピールしていきたいと考えています。ちなみに、四万十町内の予土線沿いでお勧めは、おいしい地酒と海洋堂さんのホビー館とかっぱ館です。

現在、予土線の経営は厳しい状況です。しかし、周りの方々の協力を得ながら、この50周年を次の100周年につなげていきたいです。



予土線利用促進対策協議会
 会長 坂本 浩さん

～予土線全線開通50周年のイベント風景～



～予土線全線開通時のイベント風景～





料理教室でちらし寿司を作りました

四万十町少年補導センター 2月の育成事業

四万十町少年補導センターでは、2月18日に第5回育成事業を行いました。今回は「料理教室 ちらし寿司を作ろう」をテーマに、ひな祭りにちなんで「菱餅型三色ちらし押し寿司」を作りました。大正健康管理センターで行われ、町内の小学生と保護者ら15名が参加。講師に四万十町食生活改善推進協議会（大正支部）の3名の方をお招きしました。小学校低学年の児童が多かったのですが、みんな上手に「猫の手」で包丁を使用。正午過ぎに完成する予定でしたが、手際が良く予定より早く完成。講師の方に作っていただいた味噌汁も加えて、早めの昼食となりました。児童、保護者、講師、スタッフと全員で楽しくおいしくいただきました。

令和5年度の育成事業は今回で終了です。令和6年度からは、形を変えて開催します。たくさんの方の参加をお待ちしています。



防災人生ゲームの寄贈

窪川高校3年生が制作

2月26日、窪川高校3年生が制作した「防災人生ゲーム」を四万十町教育委員会に贈呈してくださいました。このゲームは、同校の授業「地域課題研究」で防災をテーマに選んだメンバーが作り上げたもので、京都大学防災研究所の守矢克也教授からのアドバイスも生かされています。町内の小学校への配付を考え7セットが寄贈されました。災害は避けられないものですが、その準備を考えることは気が重くなりがちであることから、楽しみながら防災学習ができる方法を考案しました。このゲームを通して、小学生に窪川地区の防災について楽しく学び考えてほしいという思いが込められています。



昭和初期の貴重な記録映像が贈呈されました

大正地域の芳川山での作業映像

このたび、天理教高知大教会より、昭和初期の貴重な記録映像が四万十町に寄贈されました。

この記録映像は、奈良の天理教神殿に利用される用材を高知大教会が献木する際の様子を記録した昭和6年から7年にかけての記録映像です。当時の山の暮らしや人々の姿が動画で生き生きと記録された全国的にも非常に珍しい貴重な映像です。

大正地域の芳川山での天然^{ひのき}松材の伐採や軌道での搬出、流材など、機械がなかった時代の当時の人々の知恵と技が記録されており、今では考えられないような地道な作業をする姿が映っています。

この映像は四万十町の歴史資料として保存するとともに、わかりやすく解説を加えるなど再編集をして、広く町民の皆さまに見ていただけるよう活用を考えています。



第40回四万十町子ども会駅伝大会

男子の部 爆速のカアゲエノー 35分32秒
女子の部 米奥ガールズ 40分23秒

男子			
第1区	窪川小男子A	友永拓志	6分44秒
第2区	爆速のカアゲエノー	吉川空羽	7分09秒
第3区	爆速のカアゲエノー	武政颯太	7分19秒 (区間新記録)
第4区	東又リベンジャーズ	濱崎唯斗	6分44秒 (区間新記録)
第5区	窪川小男子A	川口瑛大	6分55秒
女子			
第1区	米奥ガールズ	坂本心美	6分57秒
第2区	影野物語	門松花奈	7分56秒
第3区	米奥ガールズ	宮崎美羽	7分42秒
第4区	米奥ガールズ	安藤恵	8分34秒
第5区	窪川小女子A	野中咲花	7分32秒

第17回四万十町勤労者駅伝大会

1位 RANRAN 32分06秒

第1区	RANRAN	武山弘周	5分42秒
第2区	RANRAN	上澤拓人	5分39秒
第3区	RANRAN	長山祥大	7分17秒
第4区	窪川病院・警察A	富澤大武	6分45秒
第5区	RANRAN	田向仁	5分52秒



子どもも大人もタスキをつなぎました

子ども会駅伝大会・勤労者駅伝大会

2月11日、第40回四万十町子ども会駅伝大会ならびに第17回四万十町勤労者駅伝大会が開催されました。

東又地区駅伝コース合計9kmのコースを沿道の声援を受けながらタスキをつないで走りました。

結果は左のとおりです。



農林水産大臣賞を受賞!!

高知県園芸品展示品評会

2月3日～4日、高知ぢばさんセンターで開催された「令和6園芸年度 高知県園芸品展示品評会」の野菜の部で岡林功二さん（興津）が最高位の農林水産大臣賞を受賞されました。また、このほかにも町内の生産者8名の方が受賞されました。

この品評会は、園芸品の品質向上と農家経営の安定・向上を目的に開催されており、今回は合計524点(野菜27品目293点、果物11品目115点、花き15品目116点)の出展がありました。

受賞結果は次のとおりです。

- 野菜の部 農林水産大臣賞
岡林功二（興津）/みょうが
- 野菜の部 高知県農業振興部長賞
津野勲（東大奈路）/にら
- 野菜の部 高知県農業会議会長賞
藤原健太郎（南川口）/きゅうり
- 野菜の部 高知県全国取引会社協議会長賞
門脇誠（東川角）/にら
- 野菜の部 エコシステム品賞
山崎健司（興津）/ピーマン
- 野菜の部 優秀賞
小嶋亨一（興津）/みょうが
井上健一（若井川）/しょうが
前田一（寺野）/せり
- 花きの部 特別賞
横山裕司（替坂本）/パンジー

(敬称省略)





農家の皆さまへのお願い

今年も、田植え作業の準備が町内各地で始まる時期が来ました。

田植え作業を行う際には、四万十川の濁りを軽減するためにも浅水代掻きの実施をお願いしております。

毎年代掻き時期は、春の観光シーズンと重なるため、増水していないにも関わらず代掻きなどによる濁水が四万十川に流出し「濁った水の四万十川」として、観光客によりイメージが与えられていません。

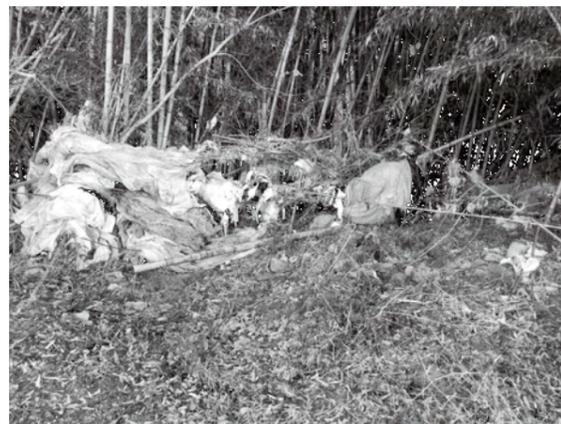
また、川底に泥などが堆積することにより生態系への影響も危惧され、鮎の遡上へも少なからず影響を与えていることから、清流保全に向けた取り組みが急務となっています。

浅水代掻きを行うことで、濁水対策だけでなく、肥料成分や汚濁水の流出が防げたり、田面の凹凸が確認できることから均一になるように泥寄せを行うことができるといった効果もあります。

四万十川振興室では「止水板」の利用も推奨しています。通常利用しているものよりも大きなものを町で配布していますので、是非ご活用ください。

現在、依然として四万十川本流には漂着ビニールなどが目につき、景観が損なわれている状況です。使用済みハウス用ビニールは適切に処分・保管をお願いします。

四万十川の豊かな環境をより一層保全し、日本最後の清流として後世に引き継いでいけるよう、皆さまのご協力をお願いします。



【お問い合わせ先】 企画課 ☎22-3124

婚活のおはなし

4



センター長 井上

四万十町出会い応援センター センター長 井上です。
よく聞くご相談などについてアドバイザーや専門家の方などにお話を聞いて、お伝えしていければと思います。

今回は、婚活サポーターについて説明します。特に、子どもに結婚してほしいと思っているお父さま、お母さまに読んでいただきたい内容になっています。

紹介

婚活サポーター 牧野利恵子

四万十町婚活ボランティアグループおせっ会代表
四万十町婚活サポーター、高知県婚活サポーター



井上

婚活サポーターの役割を教えてください。

牧野

「婚活サポーター」とは、独身の方や独身の方のご家族をサポートする人をいいます。主な活動としては、相談を受けたり、お引合せの立ち合いをしたり、イベントのお手伝いをしていただいております。「婚活サポーター」になるには、研修を受けていただいております。

井上

具体的なお話をもう少し聞かせていただけますか？

牧野

先日、独身(40代)の方のお母さまから相談を受けました。お母さまとしても、今まで誰か結婚相手がいなかったか、友人知人に相談していたそうです。しかし、なかなかご縁が無かったそうです。その中で、お知り合いの方が、「牧野サポーターの仲介で結婚した人がいた」という話を聞いたそうです。そこで、「四万十町出会い応援センターてとてと」を通じて、私に相談をいただきました。実際に、お母さまのお話を聞く中で、さまざまなアド

バイスをさせていただきました。その結果、お母さまもいろいろなヒントがあったようで、早速、息子さんとお話をしたようです。もともと、息子さんはあまり乗り気ではなかったようですが、アドバイスを参考に会話を重ねる中で、少し気持ちが上向きになってきたという報告をいただきました。引き続き、相談を受けながら、ご本人が前向きになれるようなサポートを続けつつ、出会いのサポートができればと考えています。婚活サポーターもさまざまな年齢の方がおり、男性女性、窪川、大正、十和地区にもそれぞれサポーターがいます。皆さんの状況に応じたサポートができますのでぜひお気軽に相談ください。

井上

ありがとうございました。子どもの幸せのために、家族みんなで取り組むことが婚活なんですね。家族で成長し、幸せに向かうことのお手伝いが婚活サポーターの役目だと思いました。みなさんも、気軽にご相談くださいね！

今回は、「てとてと」の会員同士で入籍されたお二人にお話を聞きます。

応援してくれる人・店舗等募集中です！

婚活サポーター 独身者をサポートする人

(相談、お引合せの立ち合い、イベントスタッフなど)

婚活サブサポーター 町内の事業所・地域の人

(センターへのあっせん、イベントの情報提供など)

四万十町出会い応援店

町内の飲食店などで婚活を応援する店舗
(お引合せ店舗、イベント情報の協力など)



ホームページ



公式LINE



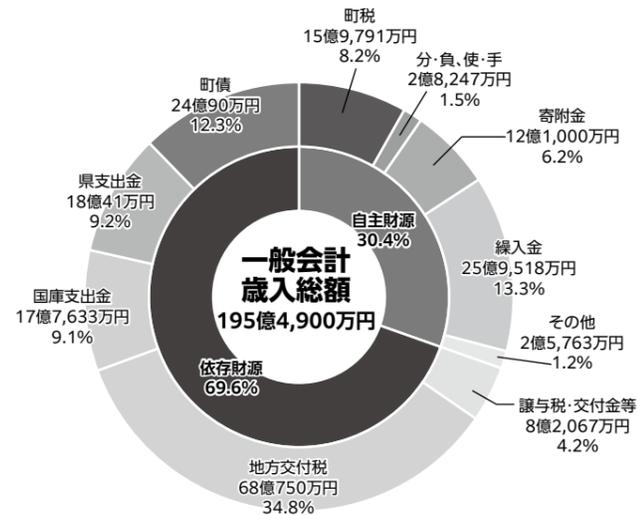
【お問い合わせ先】 四万十町出会い応援センター てとてと
✉: tetoteto@shimanto.tv
☎090-5405-1010 (平日 10時~18時) 担当: 井上義之

一般会計当初予算の概要

【歳入】

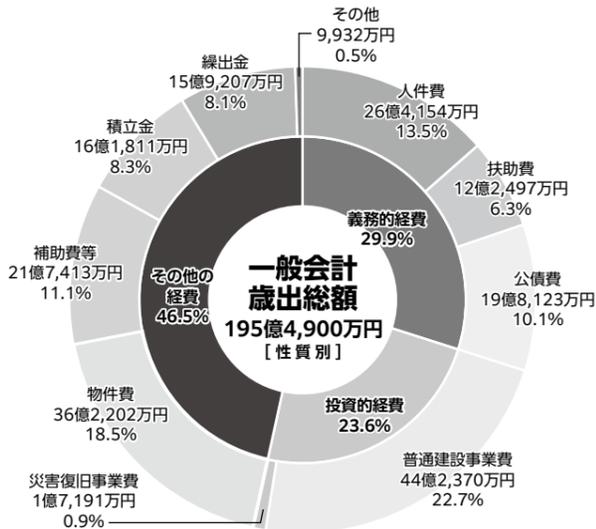
区分	令和6年度当初	構成比
(1) 自主財源	59億4,319万円	30.4%
町税	15億9,791万円	8.2%
分・負・使・手※	2億8,247万円	1.5%
寄附金	12億1,000万円	6.2%
繰入金	25億9,518万円	13.3%
その他	2億5,763万円	1.2%
(2) 依存財源	136億581万円	69.6%
譲与税及び交付金等	8億2,067万円	4.2%
地方交付税	68億750万円	34.8%
国庫支出金	17億7,633万円	9.1%
県支出金	18億41万円	9.2%
町債	24億90万円	12.3%
合計(1)+(2)	195億4,900万円	100.0%

※分・負・使・手=分担金および負担金、使用料および手数料



【歳出】【性質別】

区分	令和6年度当初	構成比
(1) 義務的経費	58億4,774万円	29.9%
人件費	26億4,154万円	13.5%
扶助費	12億2,497万円	6.3%
公債費	19億8,123万円	10.1%
(2) 投資的経費	45億9,561万円	23.6%
普通建設事業	44億2,370万円	22.7%
災害復旧事業	1億7,191万円	0.9%
(3) その他の経費	91億565万円	46.5%
物件費	36億2,202万円	18.5%
補助費等	21億7,413万円	11.1%
積立金	16億1,811万円	8.3%
繰入金	15億9,207万円	8.1%
その他	9,932万円	0.5%
合計(1)+(2)+(3)	195億4,900万円	100.0%



町民一人あたりの予算額: 1,274,464円 (令和6年3月1日現在: 15,339人)						
目的別一般会計歳出	議会費 10,453円 (1億6,034万円)	総務費 313,678円 (48億1,151万円)	民生費 242,663円 (37億2,221万円)	衛生費 93,574円 (14億3,533万円)	農林水産業費 117,115円 (17億9,642万円)	商工費 24,015円 (3億6,836万円)
	土木費 161,320円 (24億7,448万円)	消防費 54,039円 (8億2,891万円)	教育費 116,255円 (17億8,324万円)	災害復旧費 11,207円 (1億7,191万円)	公債費 129,163円 (19億8,123万円)	その他 982円 労働費 諸支出金 予備費 (1,506万円)

※()内の金額は各目的別の全体の予算額
※総務費…全般的な管理経費や企画調整費などのほか、ふるさと納税に係る返礼品などの関連経費や基金への積立金なども含まれます。

町の預金と借金残高(一般会計)

年度	積立基金(預金)残高	町債(借金)残高
令和6年度見込額	122億8,205万円	193億4,239万円
令和5年度見込額	132億5,648万円	183億4,155万円
令和4年度決算額	130億9,087万円	183億9,158万円

詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。

【メモ】町債は、公共施設の建設等の財源として町が借り入れるお金で、いわゆる借金です。しかし、個人の借金とは違って、将来その返済(元利償還金)の一部が、地方交付税として国から交付(算入)されるものが多数あります。
左表の令和4年度決算額では、一般会計の町債残高が183億9,158万円となっていますが、そのうち地方交付税で交付されるものなどを除き、町が支払う実質の負担額は43億6,074万円(町債残高の23.7%相当額)となっています。

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111

令和6年度 当初予算の概要

一般会計総額195億4,900万円
[対前年度当初比▲13億600万円・▲6.3%]

令和6年度当初予算が可決されました

四万十町の令和6年度当初予算が町議会3月定例会で、可決されましたので、概要についてお知らせします。一般会計における予算総額は、普通建設事業費の減少などにより、前年度と比較して13億600万円(6.3%)減少の195億4,900万円となりました。

また、国民健康保険事業などの8特別会計および水道事業会計ならびに新設した下水道事業会計を加えた全会計の純計(重複分を差し引いた)予算規模は254億9,403万円となっています。

予算編成の基本方針

第2次総合振興計画の推進

～まちの将来像「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現～

人口減少の克服と地方創生を目指して

～「デジタル田園都市構想総合戦略」に掲げた基本目標のより一層の推進～

スクラップアンドビルドの徹底と中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み

町民参画と行政の透明性の向上

以上のような基本方針の下、令和6年度は物価高騰による厳しい環境の中、急速に進行する少子化に対し移住・定住促進施策や子育て支援施策を引き続き推進するほか、「第2次四万十町総合振興計画」に掲げたまちの将来像の早期実現と、「四万十町デジタル田園都市構想総合戦略」を着実に推進するため、国・県などの動向や今後の財政運営などにも十分注視しつつ編成いたしました。

予算編成の基本方針

会計別	当初予算	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較		
				増減額	増減率(%)	
一般会計	195億4,900万円	195億4,900万円	208億5,500万円	▲13億600万円	▲6.3%	
特別会計	国民健康保険事業	21億8,050万円	22億8,110万円	▲1億60万円	▲4.4%	
	国保大正診療所	4億1,870万円	4億1,460万円	410万円	1.0%	
	国保十和診療所	1億870万円	1億420万円	450万円	4.3%	
	大道へき地診療所	870万円	860万円	10万円	1.2%	
	後期高齢者医療事業	3億5,650万円	3億4,900万円	750万円	2.1%	
	介護保険事業	27億1,600万円	27億700万円	900万円	0.3%	
	特別養護老人ホーム窪川荘	4億310万円	3億6,420万円	3,890万円	10.7%	
	特別養護老人ホーム四万十荘	2億9,180万円	2億6,800万円	2,380万円	8.9%	
	農業集落排水事業		3,300万円		▲3,300万円	皆減
	下水道事業		5,930万円		▲5,930万円	皆減
水道事業会計	9億6,565万円	9億6,565万円	9億8,260万円	▲1,695万円	▲1.7%	
下水道事業会計	1億3,090万円	1億3,090万円		1億3,090万円	皆増	
合計	271億2,955万円	271億2,955万円	284億2,660万円	▲12億9,705万円	▲4.6%	
重複分を除く実質合計	254億9,403万円	254億9,403万円	268億9,954万円	▲14億551万円	▲5.2%	

(7) 職員手当の状況

区分	四万十町			国		
期末手当 勤勉手当	(5年度支給割合)			(5年度支給割合)		
	6月期	1.20ヶ月分	1.00ヶ月分	6月期	1.20ヶ月分	1.00ヶ月分
	12月期	1.25ヶ月分	1.05ヶ月分	12月期	1.25ヶ月分	1.05ヶ月分
	計	2.45ヶ月分	2.05ヶ月分	計	2.45ヶ月分	2.05ヶ月分
	職制上の段階、職務の級などによる加算措置 有			職制上の段階、職務の級などによる加算措置 有		
退職手当	(支給率)	自己都合	定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
	勤続20年	19.6695ヶ月分	24.586875ヶ月分	勤続20年	19.6695ヶ月分	24.586875ヶ月分
	勤続25年	28.0395ヶ月分	33.27075ヶ月分	勤続25年	28.0395ヶ月分	33.27075ヶ月分
	勤続35年	39.7575ヶ月分	47.709ヶ月分	勤続35年	39.7575ヶ月分	47.709ヶ月分
	最高限度額	47.709ヶ月分	47.709ヶ月分	最高限度額	47.709ヶ月分	47.709ヶ月分
	その他の加算措置	なし		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (3～45%割増)	
	退職時特別昇給	なし		退職時特別昇給	なし	

特殊勤務手	区分		割合	
	職員全体に占める手当支給職員の割合			0%
	支給職員1人当たり平均支給年額			0円
	手当の種類(手当数)			
手当の名称				

時間外勤務手当	区分		金額
	年間予算額		
	職員1人当たり予算年額		146千円

区分	四万十町	国
扶養手当	配偶者6,500円、～22歳の子10,000円、 その他の扶養6,500円 16歳～22歳の子は1人5,000円加算	配偶者6,500円、～22歳の子10,000円、 その他の扶養6,500円 16歳～22歳の子は1人5,000円加算
住居手当	借家の場合、家賃16,000円を超える場合 家賃に応じて28,000円を限度に支給	借家の場合、家賃16,000円を超える場合 家賃に応じて28,000円を限度に支給
通勤手当	交通機関等利用者は55,000円まで全額支給	交通機関など利用者は55,000円まで全額支給
	交通用具使用者は使用距離に応じて 2,000～31,600円を支給 四万十町に住所を有する職員のうち、自動車などの 使用距離が片道20キロメートルを超える職員は、 20キロメートルを超える1キロメートル(1キロ メートル未満切捨て)当たり200円を加算(上限 5,000円)	交通用具使用者は使用距離に応じて 2,000～31,600円を支給
	片道2km未満の者は支給なし	片道2km未満の者は支給なし

(8) 特別職の報酬などの状況 (令和6年4月1日現在)

給料	町長	737,000円	
	副町長	631,000円	
	教育長	577,000円	
報酬	議長	310,000円	
	副議長	270,000円	
	議員	250,000円	
期末手当	町長	6月期	1.40月分
	副町長	12月期	1.50月分
	教育長	計	2.90月分
	議長	6月期	1.40月分
	副議長	12月期	1.50月分
	議員	計	2.90月分

四万十町職員の給与の状況

令和6年度一般会計予算に計上した四万十町職員などの給与の状況等は、次のとおりです。

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	(参考) 3年度の人件費率
4年度	15,603	188億9,172万円	5億5,171万円	24億3,474万円	12.89%	12.49%

注)令和5年度決算は、まだできていませんので、令和4年度決算額で計上しています。

(2) 職員給与費の状況(一般会計予算)

区分	職員数 A	給与費				1人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
6年度	249人	8億9,937万円	1億2,558万円	3億5,829万円	13億8,324万円	555.6万円

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況 (令和6年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
四万十町	299,862円	324,867円	40.9歳	—	—	—
国(5.4.1)	322,487円	404,015円	42.4歳	286,942円	329,178円	51.2歳

(4) 職員の初任給の状況 (令和6年4月1日現在)

区分	四万十町	国	
一般行政職	大学卒	187,300円	196,200
	高校卒	166,600円	166,600

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (令和6年4月1日現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	256,200円	284,800円	326,400円
	高校卒	225,600円	261,100円	290,500円

1 経験年数とは、採用前に民間企業などに勤務した期間がある場合は、その期間を換算し、採用後の勤務期間に加算した年数であるが、学校卒業後直ちに採用された場合は、採用後の年数である。総務省が定める公表様式による階層区分は、経験年数が10年・15年・20年であるが、それぞれ該当者が少数のため、近似の5年範囲の平均数値を記載。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況 (令和6年4月1日現在)

区分	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	会計管理者 政策監 地域振興局長 教育次長 課長 事務局長など	副課長・次長 室長・班長 総括主幹 総括技幹 保育所長 施設長など	副課長・次長 室長・班長 係長 主幹・技幹 保育所長 主任保育士など	主査・技査 保育教諭 保育士 保健師 助産師 社会福祉士 介護福祉士など	主任 主任技師 保育教諭 保育士 保健師 助産師 社会福祉士 介護福祉士など	主事・技師 保育教諭 保育士 保健師 助産師 社会福祉士 介護福祉士など	—
職員数	22人	39人	60人	57人	37人	34人	249人
構成比	8.8%	15.7%	24.1%	22.9%	14.9%	13.6%	100.0%

令和6年 3月 四万十町議会 定例会

施政方針

はじめに、本年1月1日、最大震度7を記録する「令和6年能登半島地震」の発生は、北陸地方を中心に甚大な被害をもたらし、特に石川県では、3月になっても死者241名、安否不明7名、避難所での生活者11,000人を超え、断水世帯約19,000戸となっており、未だ被害の全容が把握できていない状況にあります。この度の地震により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

今般の能登半島地震は、南海トラフ地震で起き得ることが全て発生しており、町民の皆さまの生命と財産を守るため、防災・減災対策の重要性を改めて痛感したところであり、本町においてもその備えを怠らぬよう、しっかりと取り組んでいく所存です。

を増加させる必要があります。また、清流四万十川の自然環境の恵みを後世に継承することは、我々世代の責務であり、この全国に誇れる一級の観光資源を生かした交流・関係人口の拡大を図る施策を展開し、新しい人の流れをつくりあげることが喫緊の課題となっております。

このため令和6年度においては、中間管理住宅の整備を継続し、新たに農家住宅・若者定住住宅の整備に努め、移住・定住促進につながる一連の対策を講じていきます。また、引き続きふるさと教育を推進することにより郷土愛を育み、将来的なUターンにつながる取り組みを推進していきます。

なお、これらの総合戦略に位置付けられた事業については、企業版ふるさと納税を併用することによる優遇措置として、事業期間の2年延長が見込まれる状況にあり、次年度以降においても国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、四万十川の保全と活用ならびに情報発信、関係人口の増加につながる取り組みを推進していきます。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

昨年、ファッション雑誌販売部
数トップシェアの株式会社宝島社

また、区長連絡会ではいち早く義援金の取り組みにも着手いただいており、社会福祉協議会を通じて被災地に町民の皆さまの温かいご支援を随時届けているところで

さて、全国的に人口減少・少子高齢化が急速に進んでおり、人口動態統計における令和4年の国内の出生数は統計開始以来、初の80万人割れとなり、過去最少を記録いたしました。高知県では全国最少の3,721人で、本町におきましても令和5年の出生数が合併後最少の52人となっております。

また、最近の社会情勢を見ますと、これまでのコロナ禍による地域経済の停滞や、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価高騰の波は、我々の日々の生活を直撃し、加えて中東情勢の緊迫化によって、深刻度は更に増しており、町民生活は依然として不安定な状況です。

一方で、我々の生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に感染症法上の位置づけが5類感染症へと移行し、これまでの制限が大幅に緩和され、町内の各種イベントについても通常開催となり、ようやくコロナ前の日常生活に戻りつつあります。

しかしながら、コロナを契機とした地域経済、町民生活は本格回復には至っておらず、今後も感染防止に注力しつつ、四万十町総合

（本社…東京都）が発行する月刊誌『田舎暮らしの本』で、人口1万人以上2万人未満のまち、若者世代が選ぶ住みたい田舎ベストランキング1位に四万十町は選ばれています。本年1月も同社の調査で総合2位という高い評価をいただいています。この評価は、これまでの移住支援策、医療、子育て、自然環境、就労支援策が高く評価された結果です。

今後、本町においては一定の人口減少が避けられない状況にあります。次代を担い明るい未来を切り開く人材育成のためにも、誰もが安心して子供を生み育てやすい環境づくりに努めていく必要があります。このため、結婚・妊娠・出産・子育てにおける段階に応じた切れ目のない対策を強化し、安心して住み続けられる地域づくりを推進していきます。

結婚に向けた支援策については、昨年9月に「出会い応援センター」として「こども家庭センター」を開設され、効果的なイベントやセミナーを開催しております。今後も、婚活協議会での議論を踏まえ、町内事業所、関係団体との連携を図り、新たな出会いの創出に努めます。

子育て支援の体制については、「こども家庭センター」「楓」を設置し母子保健・児童福祉・教育など関係機関が連携し、全ての妊産婦・子育て世帯・こどもへの切れ

振興計画の基本的な視点「若い世代の就労と希望をもち安心してくらせるまちづくり」「住み続けたい、住んでみたいまちづくり」「人口減少を見据えた持続可能なまちづくり」の実現に向けて、施策を総合的に推進する必要があると考えています。

令和6年度においては、これまでの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」から本町の強みと特性を生かした地方創生の指針となる「四万十町デジタル田園都市構想総合戦略」に移行することとなり、総合戦略の4つの基本目標および公共施設等総合管理運営計画に定める基本方針に基づき、人口減少社会においても本町の強みを生かし、活力に満ちた地域社会の創造と公共施設の将来にわたり持続可能な管理運営を実現し、町民共有の財産として将来世代へ引き継いでいけるよう、教育施設などをはじめとした公共施設などの長寿命化および最適化を着実に進めていきます。

令和6年度の重点項目 地域の特性を生かした 雇用の創出

地場産業と外商の強化を2本柱として四万十町の強みである農林水産業基盤を生かした第一次産業

目のない相談支援体制を構築していきます。

時代にあった地域をつくり、 安心なくらしを守る

人口減少社会における中山間地域の維持・創生に向けて集落機能の維持を目的とした環境整備、担い手の確保や、地域の特性に応じた拠点づくりを推進します。また、地域の実情に応じた公共インフラ整備や防災対策を強化するとともに、誰もが安心して利用できる公共交通網の構築に努めます。

安心して暮らせる生活環境整備については、生活道路の整備改善や生活排水対策に引き続き取り組みとともに、廃棄物の減量化や資源循環の推進について啓発を行うとともに、廃棄物処理施設の適正な維持管理に努めます。

また、四万十町情報化推進（DX）計画に基づき、来庁される町民の皆さまの手続きに係る利便性向上を目指して、職員の聞き取りとマイナンバーカードの活用により、申請書類を完成させ、簡潔に手続きが済む「書かない窓口」を導入することとします。

公共施設などの長寿命化、 最適化の推進

公共施設に関しては、公共施設

を重点分野とし、地域農業を支える担い手の確保をはじめ人・農地プランの法定化に基づき、地域計画・目標地図の策定に取り組み、持続可能な農業の実現と集落機能の維持に努めます。またスマート農林水産業の導入による省力化・作業時間の短縮により生産性の向上に努めます。

外商の強化においてはこれまで取り組んできた都市部の小売り、飲食、卸との関係性の深化を図り、販路拡大と販売額の増加に取り組みます。また、国内有力企業による四万十町産のショウガを使った商品の販売が確定しており、企業と連携した地産外商の推進を図ります。このほか地域おこし協力隊（民間企業等受入れ型）の導入を行うことにより、新たに地場産品を生かした6次産業化を推進します。林業振興においては森林環境譲与税を活用し、町産材の流通・販売体制の強化に努め、再造林率の向上のため森林環境整備を一層推進します。

四万十町への新しい人の 流れをつくる

本町における人口ビジョンでは、中期目標として2040年には11,500人程度の人口を見込んでおり、この目標を達成するためには若年層の人口流出を抑制し、転入人口

総合管理計画のもと、これまでに老朽化した施設の取り壊しおよび遊休町有地の処分をはじめ施設の集約化などにより住民サービスを維持しつつ、施設総量を縮減してきました。

また、維持管理経費の縮減を図るため主要な公共施設には太陽光発電、蓄電システムを導入し経費の削減に努めてきたところであり、今後は教育施設については大規模改修、長寿命化、維持修繕を計画的に進め教育環境の整備に努め、建築・道路などの公共施設についても長寿命化対策および計画的な施設修繕を行い、公共施設の適正な管理に努めていきます。

終わりに

以上、令和6年度の町政運営にあたり、特に重点的に取り組む施策について私の考えを述べさせていただきました。

町民の皆さまの「福祉の向上」と「四万十町に産まれて良かった、住んで良かった」と思えるまちづくりに向けて全力で取り組んでいく所存です。

令和6年度は、私の3期目の折り返しの重要な年度と位置づけられております。これまで以上に町民の皆さま、議員各位におかれましては、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町長行政報告

文化的施設整備事業の中止について

文化的施設整備事業につきましては、昨年12月議会定例会の行政報告において「本年度中の工事着手はできないとの判断に至った」とあわせ、「現在の計画を基本としつつ、合意形成に向けて議会や関係者の皆さまと議論を重ねていく考え」や、「今後の対応方針については、次回の議会定例会で改めて報告させていただく」としていただきましたので、ご報告します。

昨年12月の議会定例会以降、議会や意見書をいただいた団体などを中心に協議を重ねてきました。特に議会とは、全員協議会や議会代表4名との意見交換会など延べ4回にわたって協議を行い、その中で議会側からは「町長提案による住民投票を実施してはどうか」との提案をいただいたところですが、しかしながら、教育施設でもある文化的施設を住民投票で問うべきではないと判断したこと、また、主な財源である合併特例債の活用を前提とした場合には、日程的にも不可能であることを説明させていただき、今後の対応について改めて協議を行ったところです。その

の協議の中では、事業が休止状態となっている最大の要因である施設規模や事業費に対する議員の皆さまの考えについて、改めて確認をさせていただきましたが、これまでと同様に「施設規模などを縮小すべき」との意見が多数を占めており、今後もその考えは変わらないとのことでした。このため、議会の合意を得ながら事業を進めていくためには、計画そのものの見直しが求められますが、複合施設を整備する上で欠かすことのできない財源である合併特例債の期限が令和7年度末であることを考えると、残された2年間のうちで計画や設計などを見直し、施設を完成させることは不可能です。このため、苦渋の決断ではあります。現計画・現施設規模による文化的施設整備事業については、「中止せざるを得ない」と判断し、2月15日に開催された議会全員協議会において、その考えを示したところです。

今日に至るまで関係各位のご理解・ご協力のもと、実施設計が完了し、施設本体の入札を経て請負契約議案の審議にまで至っていましたが、事業中止という判断に至ったことは私自身も未だ受け入れ難く、この事業の目的やこれまでの取り組みに間違いはなかったものと確信していますが、これ以上立ち止まらない・時間を無駄にしないためにも、また、これ以上の混乱を避けるためにも、最終的な判断として報告させていただくものです。

なお、事業中止の判断に伴い、今議会では令和5年度一般会計補正予算において、継続費の変更や歳入歳出予算の減額など、関連予算を計上していますが、今後については、これまでに借り入れた起債の繰上償還や、昨年7月から全国公募を行っていた施設の愛称募集、関連する各種計画の見直し等についても、順次対応を行っていく予定です。

なお、現図書館・美術館が抱える課題への対応をはじめ、2月下旬に検討委員会を設置した図書館十和分館の整備については、関係機関などをはじめ議会や町民の皆さまと共に協議しながら進めなければならぬと考えています。

国民年金の免除申請

～国民年金の支払いが困難な皆さまへ～

国民年金第1号被保険者は毎月の保険料を納めていただく必要があります。収入の減少や失業などにより保険料を納めることが経済的に難しいときは、「保険料免除・納付猶予制度」の手続きを行ってください。保険料免除や納付猶予になった期間は、年金の受給資格期間に算入されます。※納付猶予になった期間は年金額には反映しません。※学生の方は「学生納付特例制度」を利用してください。

受給する年金額を増やすには、保険料免除や納付猶予になった保険料を後から納める（追納制度）ことができます。

保険料の納付期限から2年を経過すると時効により免除申請ができないなど、要件を満たしていなければ将来、障害年金や遺族年金などを受給できなくなる場合があります。

未納期間がある方、失業などで保険料納付が困難な場合は、高知西年金事務所または、役場年金担当にお問い合わせください。

出張年金相談所の開設について

本年度の出張年金相談は、6月5日(水)と12月4日(水)に開設されます。

相談を希望される方は、事前に高知西年金事務所へ予約をお願いします。

【お問い合わせ先】

高知西年金事務所 ☎088-875-1717

町民課 ☎22-3117

大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112

十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

固定資産税の納税通知書を発送します

令和6年度固定資産税納税通知書を発送します。

納税通知書の発送 5月1日(水)

納期は、5・7・9・11月の各月末です(月末が日曜日など休日にあたる場合はその翌日)。納め忘れのないよう計画的に納付をお願いします。

【お問い合わせ先】 税務課 ☎22-3116

軽自動車税(種別割)の納税通知書を発送します

令和6年度軽自動車税(種別割)の納税通知書を発送します。内容をご確認いただき、納期限までの納付をお願いします。

●納税通知書の発送 5月1日(水)

●納期限 5月31日(金)

障がい者などの減免には申請が必要です

身体障がい者手帳など(身体障がい者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳)をお持ちの方で、一定の要件に該当する場合、納期限までに申請することで、軽自動車税(種別割)の減免を受けることができます。

なお、この減免については普通車を含め1人1台に限りです。詳しくは税務課までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 税務課 ☎22-3116

水道基本料金の減免延長について

四万十町環境水道課では、原油価格・物価高騰の影響を受けている町民生活を支援するため、令和5年10月検針分から令和6年2月検針分までの5か月間、水道料金の基本料金を減免しましたが、継続して令和6年3月検針分から令和6年5月検針分までの3か月間、減免を延長します。減免内容、減免対象については、以前と変わりません。

【お問い合わせ先】 環境水道課 ☎22-3119

四万十町こども家庭センター「楓」を開設

※旧四万十町子育て世代包括支援センター「楓」

～すべての妊産婦、子育て家庭、こどもの相談窓口です～

政府は、2023年4月に「こども家庭庁」を創設し、子ども基本法も制定され、こどもまんなか社会の実現に向けた施策が始まっています。四万十町でも「こども家庭センター」を開設し、すべての妊産婦、子育て家庭、18歳までのこどもを対象に、相談体制を強化していきます。

こども家庭センターとは

これまでの妊産婦や乳幼児の相談を受ける「子育て世代包括支援センター（母子保健）」と、虐待や支援を必要とする子育て家庭の相談を受ける「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）」が一体となり、他機関とより連携を強化して、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない相談・支援を行います。

どんなところ？

妊娠期から出産、子育て期までのさまざまな悩みのアドバイスをしたり、町や他の専門機関とも連携して対応します。また、児童虐待やヤングケアラーなど、こどもに関するすべての相談を受け付けます。

事業内容

- 妊娠の届出・母子健康手帳の交付
- 伴走型相談支援・家庭訪問（産前訪問・乳児家庭全戸訪問など）
- 産後ケア事業（宿泊型・訪問型）
- 乳幼児健診
- こどもの発達についての相談
- 出産・子育て応援交付金事業
- ハローベビースクール
- 子育て短期支援事業
- 児童虐待に関する相談
- ヤングケアラーに関する相談
- こどもの人権の啓発

そのほかさまざまな事業を実施しています。



お母さん、お父さん、ご家族、こどもさん本人からの相談を受け付けます。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】 健康福祉課 ☎22-3115

産婦人科・小児科オンライン相談を開始します

高知県内初！

令和6年4月から、スマートフォンなどから専用サイトや通信アプリLINEを通して無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談ができます。妊娠中や産後の悩み、子どもの健康についての疑問や不安など、医療者に聞きたいことなど、ささいなことでもお気軽にご相談ください。そのほか、医師・助産師による季節や状況に合わせた医療記事や子育てのポイントを解説するLIVE動画を配信しています。

自宅から気軽に相談できる環境を作ることで、安心して妊娠、出産、子育てができるよう支援を行います。

対象者 四万十町民で、妊娠中の方および0歳から15歳以下の子を持つ保護者

いつでも相談

専用サイトから質問送信後、原則24時間以内に医師および助産師から回答が届きます。相談は24時間365日受け付けています。

夜間相談

LINEアプリ(チャット、音声通話、ビデオ通話)などで相談が可能です。事前予約が必要で、平日18:00から22:00までの間で、10分間利用できます。

日中助産師相談

LINEアプリ(チャット)から事前予約なしで、月曜日・水曜日・金曜日の13:00から17:00まで利用できます(祝日は除く)。

相談例

- 子どもの肌荒れがなかなか良くならない
- 子どもの「爪噛み」のクセが気になる
- 赤ちゃんのウンチの色が変
- 母乳が足りているか心配
- 子どもが誤っておもちゃの部品を飲み込んだ
- 妊娠してから腰痛と便秘が辛い



利用方法

小児科オンラインサイト・産婦人科オンラインサイトのどちらかで会員登録(無料)が必要です。

会員登録に必要な「合言葉」は、健康福祉課、大正・十和地域振興局町民生活課にお問い合わせいただくか、こども家庭センター「楓」窓口を設置されているチラシをご確認ください。

まずはLINEの友だち追加を!



【お問い合わせ先】

- 健康福祉課 ☎22-3115
- 大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
- 十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

山林の伐採・取得・相続には届け出が必要です

山林となっている土地を取得・相続した場合、「森林の土地の所有者届出書」の提出が必要となります。

また、山林で立木を伐採する場合、「伐採および伐採後の造林の届出書」などの伐採届一式の提出が義務づけられています(完了後の伐採報告・造林報告も同様です)。

様式は林業振興室または林野庁ホームページにて入手できます。

【書類提出先・お問い合わせ先】 農林水産課 ☎22-3113



四万十町通信2024年3月号VOL.216 掲載記事の訂正とお詫び

先月号のP14～15に掲載していましたが「福祉タクシー・バス利用券交付区分変更のお知らせ」の記事において、行政区の交付区分に一部誤りがありました。正しくは下記のとおりです。訂正してお詫びいたします。

【窪川中津川】

- × 「15km以上(100円券150枚配布)の区分」
- 「10～15km未満(100円券120枚配布)の区分」

【上栗ノ木・桑ノ又】

- × 「10～15km未満(100円券120枚配布)の区分」
- 「15km以上(100円券150枚配布)の区分」

～産後のお母さんを応援します～ 産後ケア事業

こんなお悩み
ないですか？



そんなとき、産後ケア事業をご活用ください！
助産師などの専門職が訪問、
宿泊などさまざまな形でサポートします！

ケアの内容
・お母さんと赤ちゃんの体調管理
・乳房ケアを含む授乳指導
・赤ちゃんの発育・発達のチェック
・お母さんの休息
・育児に関する指導や相談など

利用できる方

四万十町に住民票がある、出産後1年未満のお母さんと赤ちゃんで、悩みや不安、相談したいことがある方、休息が必要な方

ケアの種類

- 訪問型 助産師が自宅へ訪問(1回120分程度、最大4回まで)
- 宿泊型 施設に宿泊(最大7回まで)※開始時刻から24時間以内で1回

▽利用できる施設：(高知県)浅井産婦人科、アニタ助産院
(愛媛県)市立宇和島病院、長野産婦人科、山内産婦人科

※自己負担額：訪問型は無料、宿泊型は利用料の1割自己負担(利用料は施設によって異なります)

申請方法

原則利用希望日の7日前までに申請してください。
助産師・保健師が面談し、利用に関する説明を行います。
【申請窓口】
健康福祉課、大正・十和地域振興局 町民生活課

【お問い合わせ先】
健康福祉課 ☎22-3115
大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

虫よけ対策をしましょう



野外での活動が増えてくるこの季節、害虫対策をしっかり行っていきましょう。まずは肌の露出を減らす服装を心掛けていただき、虫よけスプレーを併用していくとよいでしょう。虫よけスプレーの主な有効成分としてディート・イカリジン・天然成分が挙げられます。濃度は虫よけの強さではなく、有効時間に違いが現れます。天然成分は一見安全に思われがちですが、子どもには使えない場合があるので注意が必要です。帰宅後、服に虫が付いていないかチェックすること、ダニに噛まれた際は無理に取らずに病院へ行くことも大切です。

4月の無料健康相談日
14・21日(日) 予約不要
お気軽にお越しください！

【お問い合わせ先】
調剤薬局技術センター
☎22-1000

健康検査・がん検診

内容	日時	場所	お問い合わせ
乳がん	4月22日(月) 4月23日(火)	8:30~16:00	四万十町役場本庁東庁舎
子宮がん	4月27日(土) 5月10日(金)	8:00~10:00	米興小学校体育館 興津町民館
胃がん、結核・肺がん、大腸がん、 若者健診、特定健診、後期高齢者健診	4月22日(月) 4月23日(火)	9:00~15:00	四万十町役場本庁東庁舎

健康福祉課 ☎22-3115

子育て通信

内容	日時	場所	お問い合わせ
4か月児・7か月児健診	4月17日(水) 5月15日(水)	対象者に個別通知	窪川地域子育て支援センター 十和町民生活課 ☎28-5112
1歳6か月児健診	4月24日(水)		四万十町役場本庁東庁舎
赤ちゃん相談	4月10日(水)	13:30~16:00	窪川地域子育て支援センター 健康福祉課 ☎22-3115
	4月18日(木)	9:30~11:30	十和地域子育て支援センター 十和町民生活課
	5月8日(水)	13:30~16:00	窪川地域子育て支援センター ☎28-5112

お白湯には以下の効果があるといわれています。



からだに
いいはなし

お白湯(ちゆ)のおはなし 2



白湯の健康・美容効果

内臓を温めることで、血流が大変よくなります。内臓の温度が1℃上がると免役力が約30%上昇する、基礎代謝も約10~12%上がるといわれているので、脂肪が燃焼されやすくなります。白湯で痩せやすい体へと作り変えていくことも可能です。



老廃物を洗い流す デトックス効果

普通の水と違い、身体に受け入れられやすい白湯ですから、どんどん飲むことができ利尿作用も高まります。利尿作用により体内の老廃物が洗い流され、肝臓や腎臓の動きはさらに活発となります。新陳代謝も高まり、尿を排出することによりむくみ解消にも繋がります。また、水分摂取により便秘も解消されやすくなります。



内臓の疲労が回復

内臓が温まるので、弱っていた内臓の動きも活発化します。胃腸が弱っている方、飲みすぎ、ストレスなどで体調が優れない人にお勧めです。



冷え性や 夏の冷えにも効果的

白湯を飲むことで胃や腸が温まりますので、新陳代謝が上がり、体に熱が作られます。冷え症に困っている方の体質改善や、夏にクーラーや冷たいものの食べ過ぎにより体が冷えてしまっている人にも効果があります。



四万十町国保大正診療所 徳橋理紗・大川剛史

令和6年1月1日、誰もが新しい年の始まりに、心躍らせ幸せなひと時を過ごすはずだった。午後4時10分、突然、お正月のどんらんを激震が襲った。「令和6年能登半島地震」である。

石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震によって、北陸地方を中心に甚大な被害が発生し、今もなお避難生活を余儀なくされている方がいるなど、未だ被害の全容が把握できていない状況となっている。

近い将来、高い確率で発生が予想される「南海トラフ地震」。今回の能登半島地震では、この南海トラフ地震が発生した際に生じるであろう事象が、全て起きたとも言われている。もはや私たちはそれらの事象を、想定外とすることはできないのかもしれない。

今、まさに能登の地で起きている現実を、想定内として捉えるためにも、この地震が発生した私たちへの警告を次号からシリーズで紹介し、皆さまの対策や備えに役立てていただきたい。

防災連載企画 No.1
能登半島地震からの警告!
【お問い合わせ先】 危機管理課 ☎22-3280 次回「家屋の倒壊の恐ろしさ!」

休日在宅当番医

4/14(日)	くぼかわ病院 ☎22-1111	
4/21(日)		
4/28(日)		
4/29(月)		
5/3(金)		
5/4(土)		
5/5(日)		
5/6(月)		

① 休日水道修理当番は窪川地域のみです。
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。

大正 地域振興課 ☎27-0111
十和 地域振興課 ☎28-5111

休日水道修理当番

4/13(土)	岩本商店	☎22-2716
4/14(日)	日化住宅機器	☎22-0407
4/20(土)	宮脇水道	☎22-1581
4/21(日)	高橋設備	☎22-0662
4/27(土)	桑原水道	☎22-1163
4/28(日)	横山水道設備	☎22-3608
4/29(月)	岩本商店	☎22-2716
5/3(金)	日化住宅機器	☎22-0407
5/4(土)	宮脇水道	☎22-1581
5/5(日)	高橋設備	☎22-0662
5/6(月)	桑原水道	☎22-1163

四万十町国民健康保険運営協議会委員の募集 募集

四万十町国保の運営について、予算や決算、その他運営に必要な事項を協議し、より良い国保運営を図る協議会の被保険者を代表する委員3名を募集します。ぜひご応募ください。

- 業務内容 年4回程度、町議会定例会の前や必要に応じて開催される協議会への参加。年1回程度開催される委員研修会への参加。
- 条件 四万十町在住の方で、四万十町国保被保険者の方(下記の任期中も国保被保険者であることが見込まれる方。)国保運営に興味のある18歳以上の方。
- 任期 3年(令和6年5月26日~令和9年5月25日)
- 報酬 5,000円(1回)
- 募集人員 3名
- 応募方法 本庁町民課、大正・十和各地域振興局町民生活課に備え付けの申込書に記入し提出してください。
- 募集期限 4月26日(金)
応募多数の場合は、応募書類などにより選考

お問い合わせ先 町民課 ☎22-3117

町営住宅入居者募集 募集

- 募集戸数 1戸
- 募集住宅 金上野団地(公営住宅)
- 申込受付期限 4月30日(火)必着
- 必要書類 入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など
- その他 ①申込は1回の募集において1世帯につき1通に限ります。
②入居資格、申込方法などについては建設課までお問い合わせください。
- 申込書配布場所 建設課、大正・十和地域振興局、興津出張所

お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

無料相談 (秘密厳守です) ▶行政相談…【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

人権相談【窪川】	5/8(水) 10:00~15:00	農村環境改善センター 2階 第1会議室	町民課 ☎22-3117
1日行政相談【窪川】	5/14(火) 10:00~15:00	農村環境改善センター 2階 第1会議室	総務課 ☎22-3111

「四万十町通信」の広報委員募集 募集

「四万十町通信」をより分かりやすい内容で編集し、町の情報や町民の皆さまに必要な情報をお届けするために、一般広報委員を募集します。

- 内容 月1回広報委員会への参加。そのほか広報へのご意見など。
- 応募資格 四万十町在住の方で、広報に興味のある20歳以上の方。
- 募集人員 若干名
- 任期 1年(6月~)
- 報酬 1回 5,000円
- 募集期限 5月6日(月)

※面談のうえ決定します。(面談日5月中旬)

お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

四万十リバーフェスタ2024

イベント

川遊びを満喫してもらう川開きイベント。地産の屋台出店や体験ブースが並び、13時より餅投げも行われます。例年通りラフティングとカヤックの体験も開催します。(小学生以上が対象で、完全予約制です。)

- 日時 4月21日(日)10:00~15:00
- 場所 川遊び公園ふるさと交流センター



《お詫び》

このたび、区长回覧に添付した「四万十リバーフェスタ2024」チラシ表面の内容につきまして、以下のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

誤 協力 四万十川東部漁協協同組合

正 協力 四万十川東部漁業協同組合

お問い合わせ先

四万十町観光協会 ☎29-6004

半平 春の小盆栽展

イベント

四万十町出身(高知市在住)の笹岡良吉さんの小盆栽展を開催。手のひらに載るほどの小さな小さな盆栽もあり、どれも笹岡さんの愛情いっぱいです。丁寧に育てられた小さな和の世界をお楽しみください。

- 日時 4月20日(土)、21日(日)9:00~16:00
- 場所 古民家カフェ半平



お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101



太陽光発電設備等設置費補助金について

お知らせ

「太陽光発電設備等設置費補助金」の交付についてお知らせします。

【補助の対象】

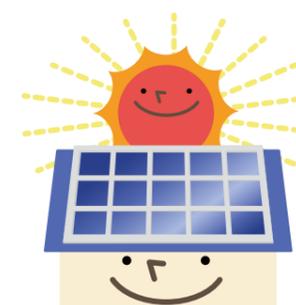
- ①自らが居住している四万十町内の住宅(店舗、事務所など併用住宅を含む)または居住を予定している新築または改築する住宅に太陽光発電設備と蓄電池設備(移動式蓄電池を除く)またはV2H充放電設備を導入し、発電した電力を住宅において消費する個人に対して補助金を交付します。ただし、すでに住宅に太陽光発電設備を導入している場合は、蓄電池設備またはV2H充放電設備のみの導入についても補助の対象となります。
- ②補助対象の個人とは、四万十町の住民基本台帳に記載がある者(実績報告書を提出する日において)です。
- ③県税および町税を滞納していないことが条件となります。

【補助金額】

- 太陽光発電設備
太陽電池モジュールの最大出力値×4万円/kwの額以内(限度額20万円)
 - 蓄電池設備
蓄電容量×4万円/kwの額以内(限度額40万円)
 - V2H充放電設備
銘柄ごとの補助金交付上限額×0.4または購入費×0.2のいずれか少ない金額(限度額30万円)
- ※太陽光発電設備のみ設置の場合は、補助の対象外となります。

【補助金の交付申請方法】

申請者は、発電設備などに係る設置工事の着工前に、申請書および関係書類を添えて担当課に提出してください。工事完了後は、実績報告書の提出が必要です。



お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119
大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金について

お知らせ

「飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金」の交付についてお知らせします。

【補助の対象】

- ①四万十町内に生息する飼い主のいない猫(所有者がいないことが明らかであるもの)が対象です。
 - ②飼い主のいない猫を管理している四万十町内を所在地とする団体からの申請を受け付けます。
 - ③手術後に不妊・去勢手術済みであることが分かる耳カット処置(領収書に耳カット処置ありの記載)が必要です。
- ※飼い猫・営利目的に飼養管理している猫は対象外となります。

【補助金額】

- メス猫
1匹につき限度額15,000円(実費費用金額)
- オス猫
1匹につき限度額10,000円(実費費用金額)

【補助金の交付申請方法】

申請者は、手術を実施した日の属する年度の末日(令和7年3月31日)までに、申請書兼請求書と手術にかかった領収書および関係書類を添えて担当課に提出してください。

※予算が無くなり次第終了しますので、申請予定の方は手術前に補助金があるかどうかのご確認をお願いいたします。

お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119
大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

意見公募の結果について

お知らせ

意見公募を行っていました、下記2つの結果についてお知らせします。

- 〈意見なし〉
- ①四万十町デジタル田園都市構想総合戦略(素案)
- 〈意見あり〉
- ②四万十町地域公共交通計画(素案)

「②四万十町地域公共交通計画(素案)」の意見および回答については、四万十町ホームページをご覧ください。



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124



iphone用

android用

四万十町の公式アプリ「40010～ヒミツのともだち～」は、四万十町をマップとしたRPGゲームです。釣りやカヌーなどのミニゲームで、四万十町をまるごと楽しむことができます。アプリをダウンロードして四万十町を隅々まで遊びつくしましょう!



令和6年3月1日(金)、令和5年度卒業式が厳かに挙行され、3年生24名がそれぞれの思いを胸に新たな道へと旅立ちました。在校生一同、先輩方のこれからの活躍を祈っています。

答辞 竹中 楓

例年になく暖かな日が続いた冬を越え、気づけば春の穏やかな風を感じる季節となりました。本日は私たち二十四名のために、このように心温まる卒業式を挙げていただきましたことに、卒業生を代表して深く御礼申し上げます。中略

私が一番印象に残っている思い出は、二次の修学旅行と今年度の文化祭です。(中略)

修学旅行で行ったお野祭市場では、関西大学と野野地、町役場を中心とする多くの地域の方々の応援・協力も相まって四万十町産野菜のPR販売ができました。これまでと違う環境で多くの人と出会い、いろいろな経験が、全員にとって初めての経験であるとともに、一人ひとりの自信へと繋がりました。それは私自身も例外ではありません。入学前はできる前にも関わらず、今、答辞を読んでいることに信じがたいことであり、自身の成長であると考えています。そして、今年度の文化祭・中略、三年生は不思議の国のアリスをモチーフにしたカフェをしました。高校最後の文化祭、おそろいのパーカーや買い出し、衣装作り、装飾など先生方の協力のもと、自分たちで準備したことは何となく取っ組み合いと言えそうです。その中で私が一番驚いたことは、クラスの中の一人ひとりが、自分ができることを一杯やっていたこと。絵を描くのが得意、小道具が得意、それまでも約二年半一緒に過ごしてきた仲間たちと、自分なりの「得意」をたくさん見つけていることができてきました。そして、一人ひとりが重なり合うことによって、一つのカフェを作り上げることができました。中略、一人ひとりの得意なことを活かして貢献しようとするこのクラスは素晴らしいと再認識しました。(中略)

私達は、これから窪川高校を卒業し、一人ひとりが全く違う道へと進むこととなります。寂しく、まだ、明日からも教室に行く友人の笑顔と、思いやりが溢れる先生の優しい眼差しのある教室が待っているのではないかと思っています。ですが、この旅立ちを一つのチャンスとして、これから踏み出していきます。

最後になりましたが、これまで私たちが支えて下さった全ての方に改めて御礼を申し上げますと共に、窪川高等学校の益々の発展を祈念して答辞とさせていただきます。



詳しくは窪川高校公式HPへ窪川高校HP

1月31日(水)、令和5年度の総合的な学習の時間と地域課題研究での学習の成果を発表する「夢・志発表会」が四万十町学生会が主催となり、各学年が下記のように多彩なテーマで1年間の取組成果について報告しました。

多くの方のご参加をいただき、質疑応答も活発に交わされ、今年度の学習活動の締め括りにふさわしい発表会となりました。

発表内容	
1年	総合的な探究の時間1年間の取り組み
2年	小さな学校が地域と協力してつくる大きな文化祭
3年	地域の課題はみんなの課題～1年間の取り組み報告～ 進路決定に至るまでの道のり

令和5年度 夢・志発表会



#地域で挑戦する、高校生たち



高校の卒業式の日に合わせて、「じゅうく。」卒業式を開催しました。後輩たちに熱いエールを残し、それぞれの道へ進んでいきました。これからも応援しています！

【お問い合わせ先】 町営塾「じゅうく。」 050-5482-3339
人育成推進センター 22-3163

利岡守さん

(軟式野球審判員)



どの試合でも集中せないかん

一塁への送球とほぼ同時に、バッターランナーが勢よくベースを踏んだ。「ヒズアウト!(He is out!)」。張りのある声とともに、利岡守さんの右手が力強く上がる。

軟式野球の審判員として、試合を陰で支え続けて46年。「審判でゲームの引き締めりが全然変わってくる」。選手とはまた違った面白さがあるという。

野球の審判はルールを知っていれば誰でもできる、わけではない。試合を円滑に進めるためには膨大な知識と技術、他の審判とのチームワークが必要で、審判員のマニュアルは本1冊分にもなる。

試合では、ボールと選手の動きを常に把握して立ち位置を移動し、一番見やすい角度で判定を行う。他の塁審が外野への打球を追ったとき、空いた塁をカバーするようにポジションを変えるフォーメーションも、長年の研鑽(けんさん)に裏打ちされた動きだ。

利岡さんは消防署に勤務しつつ、社会人野球で腕を鳴らした。30歳で選手を引退した後、県軟式野球連盟の理事長

から「やってみるか」と声をかけられ、審判員の世界に入る。「最初は全然分からなくて、しんどいなと思いつたけど。もう勉強勉強、始めたら楽しかった」

休日には県外の講習会にたびたび赴き、一流の審判員から指導を受けた。教わった言葉は細かくメモに残した。「基本が大事、基本だけをやれ」「プレーは予測してもいいが、ジャッジは予測してはいけない」…。59歳の時には本場アメリカのアンパイア(審判)スクールで10日間学んだ。

国体や県内外の試合で審判を務め、後進の育成にも尽力してきた利岡さん。功労者として、全日本軟式野球連盟と高知県から表彰された。県内では審判員のなり手が減っており、多くの人に興味を持ってもらいたいという。

「大人の試合でも子どもの試合でも、点差が10対0で開いたち、おんなじように集中せないかん。集中が抜けたら態度に出る。何年やっても難しい」

最近はグラウンドに立つ機会は減ったものの、試合に向けるまなざしは変わらない。



こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。

町にはこんなwazaも
ちょいwaza!! 縄跳びが得意! 岡崎くみみさん くぼかわ保育所年長組

最近、縄跳びがみるみる上達し、20回くらい跳べるようになった。走り縄跳びも得意で、追いかけて大人に勝てるほど。次の目標「50回」に向けてマイペースに練習中だ。

数々の伝説と伝承を生む、

山深い大道地区の入り口



くち おお どう 口大道



岩盤を避け、登って降って右へ左へ。

大道は山の中である。久保川口のバス停留所から北へ約4km行くと口大道に入る。クネクネと木立の中を行く道は、所々狭くなっているがスイスイ行く。今でこそ、このように整備されているが、それまでは苦難の歴史であった。久保川に沿ってせり出す山肌は強固な岩盤が多く、人力の時代は岩盤を避けて川へ降りるように道を作った。もちろん車が通ることは想定していない。徒歩と牛馬が通行することを前提とした、登って降って右へ左への道であった。崩れることもしばしばで、住民たちが都度補修を重ね、この生命線を確保してきた。

そんな状況を一気に変えたのが、岩盤を砕くダイナマイトである。これによって登り降りの苦勞がほぼなくなった。小さなトラックなら通行が可能になった。古老が言う。「小学生の頃、授業中によく発破の音がしよった」と。発破の音は、当時の大道の人々にはさぞ頼もしく聞こえたことであろう。

平家落人(平教経とその家来)伝説と芝日光院伝説

大道は平家の落人が切り拓いたと言われている。久保川地区(先月号参照)の口大道近くに「半家滝」という所がある。また、この久保川沿いには、平教経が落ち延びる際に改名したとされる「門脇姓」が多い。(家来の姓だったという説もある)。平教経については生存説にも諸説あるし討死説もあり、伝説の域を出ないが、この山深い大道に立つと「来たに違いない」という気がする。

平家の時代から時が流れた江戸時代。口大道には芝日光院という行者(山岳信仰などの修行をする人)がいたらしい。彼は腕っぷしが強く、また不思議な力を持った男として広くその名が知られていた。伝承では、この日光院が、村の産土神を大元神社から黄幡神社に移行したとされている。黄幡神社および黄幡という姓は現在の広島県西部に多いそうだ。

八角に削って出荷された「大道松」

さて、大道といえば大道松である。口大道でも大道松の出荷が盛んに行われた。運搬時の利点から、切り出された丸太は手斧で八角に削ったという。実際に使われていた手斧が今も残るが、これを使いこなしていた先人の技術たるや、尋常ではなかったであろう。



大切に保存されている手斧。右利き用と左利き用がある。

町のうごき

(2月29日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,365	-21	男 2	19	13	17
女	7,974	-13	女 2	16	9	8
計	15,339	-34	計 4	35	22	25
世帯数	8,052	-11	(2月中の届出)			

窪川地域 10,934人 大正地域 2,098人 十和地域 2,307人